

気象庁における 新しい手法の導入スケジュール概要（案）

気象庁では、緊急地震速報の高度化と迅速化による地震被害の軽減を目的として、平成27年度内から新たな手法（IPF法及びPLUM法(ハイブリッド法)）の導入を順次進める計画です。

また、並行して長周期地震動予報の開始に向けた準備を進めます。

全体計画概要

この計画は最短を想定

項目	導入時期	H26(2014)年度				H27(2015)年度				H28(2016)年度				H29(2017)年度			
		6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3	6	9	12	3
IPF法運用開始		IPF法開発・動作確認								IPF法開始							
PLUM法運用開始		PLUM法(ハイブリッド法)開発・動作確認								PLUM法(ハイブリッド法)開始							
説明会等		8/26説明会 アンケートによる意見募集(~9月末)				随時意見照会・説明会											
・既存電文の フラグ定義変更 ・新規予報資料配信		電文(案)提示 (年内予定)								警報・予報へ反映 (既存電文一部変更)							
		電文確定 (年度内予定)								新規予報資料配信							
地震動予報業務 許可		計算方法を定める件 (告示)及び審査基 準(案)提示				パブリックコメン トを経て決定				新しい手法による業務							
(参考) 長周期地震動予報		有識者検討会(提供内容検討)、関係事業者への説明等								電文形式確定(予定)				開始目標			